

NS形チェンジャッキ

NS形ダクタイル管接合・解体器具

75 ~ 250



取扱説明書

この取扱説明書は、チェンジャッキを正しく、安全に使用していただくための作業手順と注意事項を記載したものです。

使用前に必ず、お読み、理解したうえで使用してください。作業担当の方が、いつでも読めるように携帯・保管してください。

この取扱説明書は、NS形ダクタイトイル管の接合要領そのものに関しては、お客様が理解しているものとしたうえで、接合器具の説明・注意・接合確認に限定し、接合器具そのものにかかわる事柄以外には、当社は免責となる場合があります。

本書の記載事項は、予告なく変更する事があります。

NS形ダクタイトイル管接合・解体器具

1	器具内訳	5			
2	部品名称部	6			
3	注意事項	7			
4	本体部の取り付け方、および位置	8			
	1 直管の場合	〃			
	2 異形管の場合	〃			
	3 取り付け、および締め付け	9			
5	接合方法	11			
	1 接合する前に	〃			
	2 チェンレバーの取り付け方	〃			
6	接合の確認	14			
	1 直管受口 + 直管挿口	〃			
	2 異形管受口 + 異形管挿口	〃			
	3 直管（ライナー） + 異形管挿口	〃			
	4 異形管受口 + 直管挿口	〃			
7	解体矢の打ち込み	17			
8	チェンジャッキの取り付け	19			
	直管の場合	〃			
9	チェンレバーの取り付け	20			
	1 直管の場合	〃			
	2 異形管の場合	21			
10	保 守	22			

●●●●●●●●●●チェンジャッキについて●●●●●●●●●●

チェンジャッキは、NS形ダクタイトイル管の接合・解体を行うために、開発された器具です。

NS形ダクタイトイル管 75 ~ 250 まで使用でき、接合・解体がスムーズに行えます。

NS形接合・解体器具は、チェーンを使用していますので管にキズが付く場合があります。

キズの補修は、日本ダクタイトイル鉄管協会指定の補修用塗料を使用してください。

●●●●●●●●●●NS形ダクタイトイル管接合・解体器具●●●●●●●●●●

1 器具内訳

チェンジャッキは、NS管 75 ~ 250 までの呼び径すべてに使用できます。

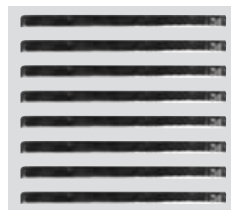
作業にかかる前に必要な部品がそろっているか、お確かめください。

標準部品

●チェンジャッキ本体部	4組
●解体用シャフト	2本
●解体用スペーサー	2ヶ
●片口スパナ 30	1本
●チェンレバー〔S 〔 2m)	2丁
●取扱説明書	1部

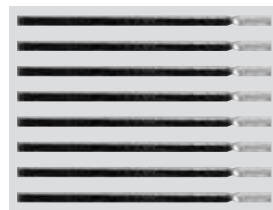
オプション部品 解体矢

3mm170L



異形管用 写真-1

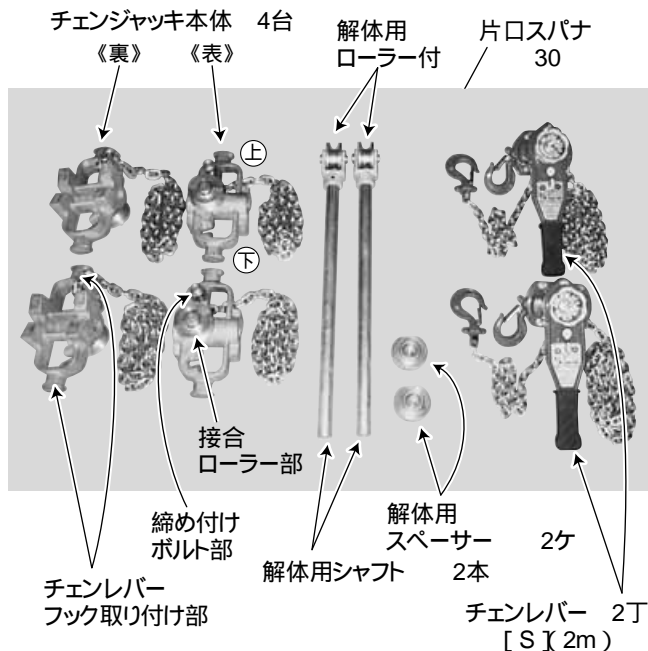
3mm300L



直管用 写真-2

2 部品名称部

<チェンジャッキ 一式>



オプション部品...ラチェットハンドル 30

3 注意事項



注意: チェンジャッキ本体部及び本体部チェンをパイプに取り付ける時、パイプの間に指を挟まないようにしてください。



注意: チェンレバーのフック部を本体にセットする時に、指を挟まないようにしてください。

注記: 専用のチェンレバーは、本品の目的のためだけに使用してください。



禁止: 製品を改造しないでください。
改造品の修理には一切応じられません。



禁止: 部品は純正部品を使用してください。
純正部品以外を使用しますと、製品の耐久性に影響し、作業に不具合を生じる事があり、修理に応じられません。

点検で異常が見つかった時には、そのまま使用せず、修理などの対策をとってください。

- (2) 反対側のチェンジャッキ本体の取り付け
 チェンジャッキ本体のチェンを片側のチェンジャッキ本体に通してチェンジャッキ本体の接合ローラー部が管に左右対称になるよう取り付けます。チェンが交差しないよう取り付けてください。

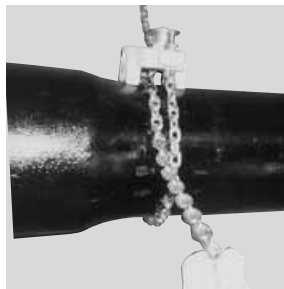


写真-11

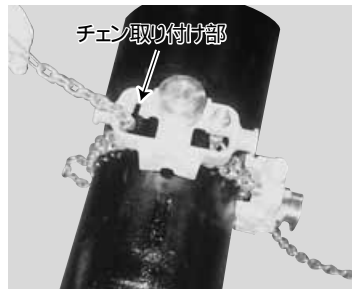
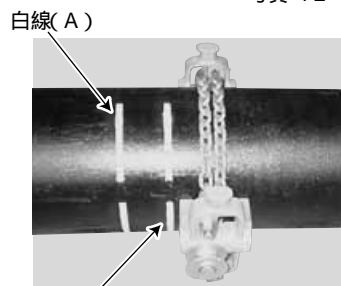


写真-12



写真-13



白線(B)

写真-14

挿口のチェンジャッキ本体取り付けは受口と同じ方法で白線(B)の近くに取り付けます。

5 接合方法

1 接合する前に

挿口突部と受口などに異物・ゴミ等の確認をし、必ず指定の滑剤を使用してください。次に受口部に挿口突部をあずけてください。

2 チェンレバーの取り付け方

- (1) チェンレバーの上フック(本体フック)を受口側フック取り付け部に掛けてください。(写真-15)



写真-15

- (2) 挿し口の接合用ローラー部にチェンを巻き付けます。(写真-16)



写真-16



写真-17

- (3) チェンレバーの下フックを受口本体部の下側フック取り付け部に掛けます。(写真-17)

チェンのねじれに注意してください。

(4) 反対側のチェンレバーの取り付け

直管受口 + 直管挿口 (左右対称に取り付け)

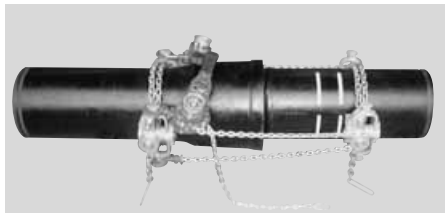


写真-18

異形受口 + 直管挿口 (左右対称に取り付け)

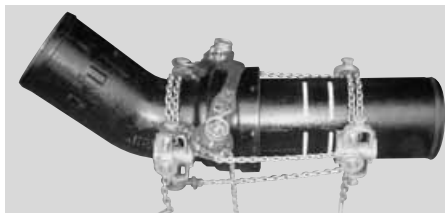


写真-19

異形管 + 異形管 (上フックを対角線に取り付け)



写真-20

- (5) チェンレバー切換えつまミ
チェンレバー切換えつまミを遊転にし、チェンのたるみを取り、切換えつまミを↑UPにしてください。(写真-21)



写真-21

- (6) チェンレバーの操作
パイプがまっすぐ入るように、チェンレバーの柄を左右交互に操作し、ゴム輪・ロックリングを通過させ、規定寸法まで挿入してください。(写真-22)

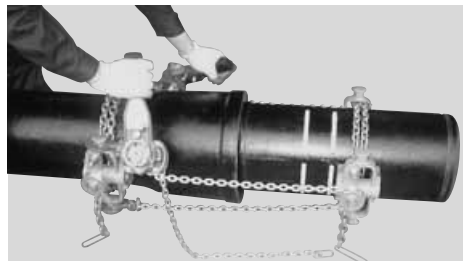


写真-22

- (7) チェンジャッキ本体使用后、締め付けネジ部のナットを一番上まで上げておくと、次の作業がしやすくなります。

6 接合の確認

1 直管受口 + 直管挿口

挿口先端から1本目の白線(A)を受口端面まで挿入してください。

2 異形管受口 + 異形管挿口

受口側端面と挿口側突部が当たるまで挿入してください。

3 直管受口(ライナ)+異形管挿口

挿口先端がライナに当たるまで挿入してください。



注意：挿口先端がライナに当たったら挿入を停めてください。

4 異形管受口 + 直管挿口

直管挿口先端が異形管受口の奥に当たるまで、挿入してください。



注意：挿口先端が受口の奥に当たったら挿入を停めてください。

挿入規定寸法は、接合要領書で参照してください。

注記：チェンレバーを操作して、チェンジャッキ本体がはずれた時は、チェンジャッキ本体の締め付けが弱いのではなく、施行上の問題です。

管がまっすぐになっていない。

チェンジャッキ本体の取り付けが誤っている。
ロックリング・ゴム輪の異常を確認して再度、操作してください。

注記：挿口端面がロックリングを通過しない場合、解体して異常を確認し、ロックリング・ゴム輪を必ず交換して、始めからやり直してください。
チェンレバーの上フック、下フックがのびるような無理な力は絶対にかけないでください。

<直管×直管接合の場合のみ>

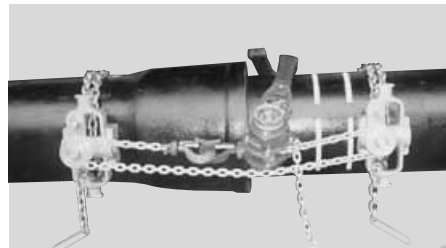


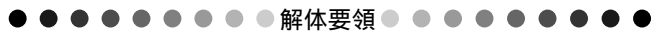
写真-23

チェンレバーのチェンを接合用ローラー部に取り付け上フックと下フックを掛け左右同じようにセットし接合します。

各口径と最大接合力・チェンレバー手巻力量

口径	最大接合力kgf ()内は解体時	手巻力量kg ()内は解体時
75	700(1200)	11(19)
100	800(1300)	12(20)
150	1000(1600)	14(24)
200	1500(2400)	16(26)
250	1900(3000)	20(32)

注記：使用方法でチェンレバーを取り外す場合にはパイプの接合完了後すぐにチェンジャッキ本体を外さず、フックを掛けたままツマミを(DN)に合わせチェンをゆるめ、最後にチェンジャッキ本体を取り外すようにしてください。この順序で作業を行うことにより、ロックがかかった状態にはなりませんので、次回の使用には問題がありません。



7 解体矢の打ち込み方

- (1) 解体矢、使用本数は8本です。(必要に応じて、本数を増してください。)
- (2) 解体矢の先端に滑剤を塗布してください。
- (3) 解体矢の先端がテーパ加工してある方を表にしてください。
- (4) 解体矢を受口・挿口管の隙間からパイプに傷をつけないように打ち込んでください。

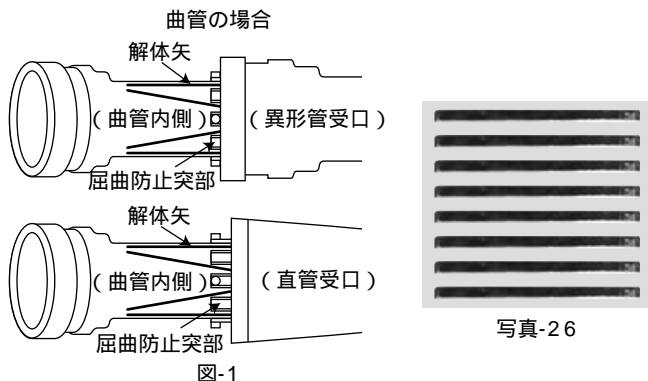


写真-24 滑剤注入器を使用

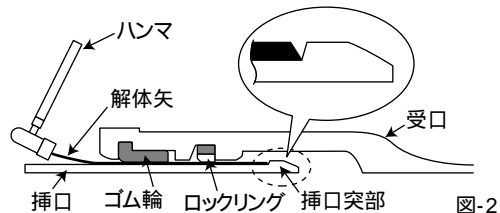


写真-25 打ち込みハンマー使用

- (5) 曲管の場合3mm×170Lの解体矢を使用しますと打ち込みが容易にできます。



- (6) 解体矢がロックリングを押し広げ挿口突部に当たるまで挿入してください。(図-2)



- (7) 解体矢の打ち込み過ぎ、打ち込み不足を防止するため、挿口突部までの寸法を解体矢に記し、それを目安にしてください。

8 チェンジャッキの取り付け方

直管の場合

解体矢の手前にチェンジャッキ本体を取り付けます。



写真-27

解体用シャフトをチェンジャッキ本体中心部の穴に通します。解体用ローラー部が上になるようにします。



写真-28

解体用シャフト先端部に解体用スペーサーを取り付けます。



写真-29

- (4) 解体用スペーサーを取り付け受口端面にあてます。
このとき、スペーサーにカットされた部分があり
ますので管側にセットしてください。

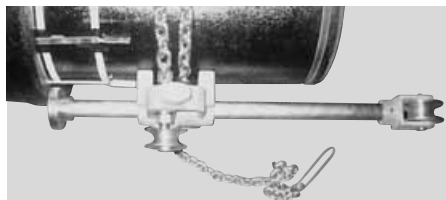


写真-30



カット部

9 チェンレバーの取り付け方

1 直管の場合

- (1) チェンレバーの上フック取り付けは、チェンジャ
ッキ本体上部のフック取り付け部にセットしてく
ださい。(左、右)

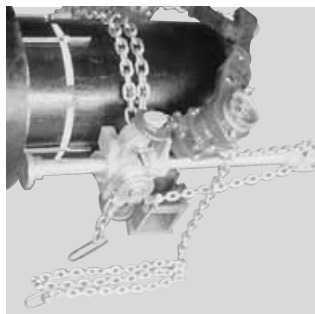


写真-31

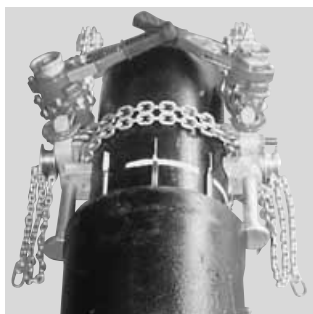


写真-32

2 異形管の場合

解体矢は3mm×170Lを使用しますと、打ち込み
が容易にできます。



直管 + 異形管



異形管 + 直管



異形管 + 異形管



禁止：再度接合する時には、必ずゴム輪は新しいものと交換してください。解体したゴム輪は絶対に使用しないでください。

10 保 守

- チェンジャッキ本体、チェンレバー、解体用シャフト等に泥、ゴミ等が付着したまま放置しないでください。
- チェンジャッキ本体、締め付けボルト、接合用ローラー部、解体用シャフト等にサビがでないよう注油してください。
- 器具は純正部品を販売店に注文してください。
- 接合器具を落したり、放り投げたりしないでください。
- 接合・解体器具にゴミなど付着したままにしないでください。

また、滑剤が付着した時には、よく水洗いしてきれいに取り除いてください。

株式会社 中野製作所

〒331-0057 埼玉県さいたま市西区中野林214

☎ 048-622-3601

FAX 048-623-7753

販 売 店